資料2-2

「認知症に優しいまちSAKAI」に向けたアンケート結果

<アンケート実施概要>

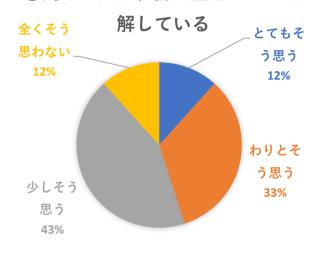
*実施方法:本人ミーテイング・家族会等に参加した本人・家族等へ調査票

を配布 (無記名での任意回答)

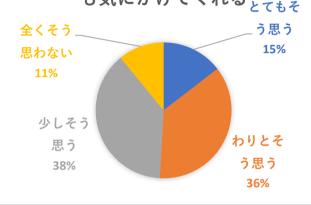
*実施時期:令和5年9月末~令和5年12月末

*回答数:60件

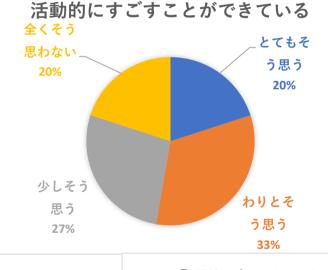




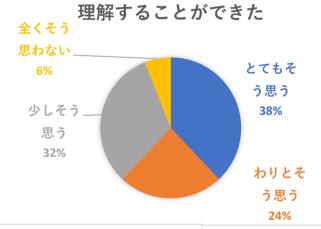
②周りの人は、認知症の本人の個性を大切にし、したいことをいつも気にかけてくれる $_{とてもそ}$



③本人が認知症になってからも、



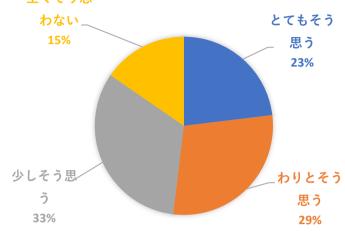
④異常を感じて早いうちに診断を受け、認知症などの病気について



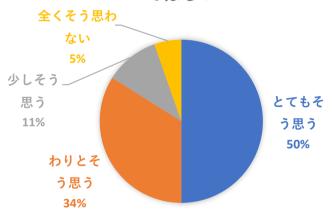


少しそう思う 33% う 18% ⑥認知症の家族や介護者は、趣味 やレクリエーションなど、したい

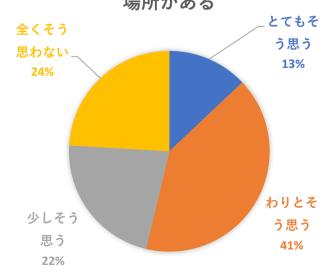
全くそう思 ことができている



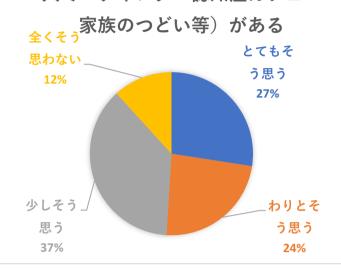
⑧認知症の本人・家族等の当事者が相談しあい、語らう場を増やしてほしい



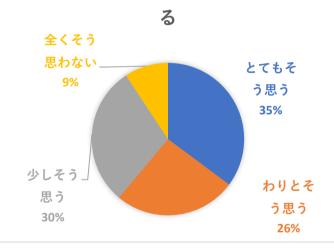
⑩家以外に、落ち着いていられる場所がある



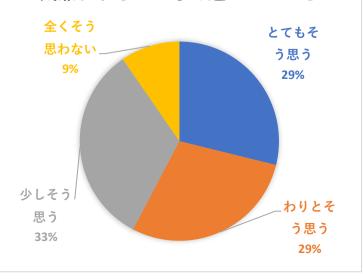
⑦認知症の本人・家族等の当事者が相談しあい、語らう場や、その家族同士が学び、話し合う場(本人ミーティング・認知症カフェ・



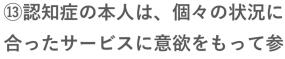
9身近に何でも相談できる人がい



①認知症の本人は、家族や社会に 気兼ねすることなく過ごせている



①認知症の支援制度などに関する 情報を十分に得ている 全くそう 思わない 4% りしそう 思う 40% かしそう 思う 33%





く 自由記載 >

- ・年々妻が進行し、介護が難しくなってくる。当然のことですが、こちらは加齢により弱くなります。頑張りますが、 少し個別に助言が頂きたいです。
- ・周囲の人の理解:実母、長兄、子供がわかっていない 嫁は理解あり全部やってくれている
- ・当事者の集まりよりは、今までの友人、知人との関係を維持できるようにしたい(腫物にさわる 離れていく)
- ・孤独になる 死にそうなほどの孤独
- ・今までの友人、仕事の関係者の方々などと、交流が難しくなった。みんま遠慮している。気にはかけてくれる けど会うことはない。
- ・認知機能が落ちてきた時、早く病院へ連れていきたいけどどうすれば良いか、相手に伝えるべきか困ります。
- 現在介護施設に入所している為、少し楽になっています。
- ・家族会の存在はやはり必要だと感じました。
- ・発症から16年、新薬を待ちこがれたが、既に末期。薬が承認されても初期や軽度対象である。このまま有効な手段なく悪化していく妻を忍びない思いで介護している。
- ・認知症に関する情報(自治体、医師会、病院、警察等)が一括して得られるHPがあるとうれしい。講演や講習の情報は色々探しあてないといけないから。

<回答者属性> 回答数:60件

***年齢**:40歳代以下:5人 50歳代:5人 60歳代:5人 70歳代:24人

80歳代:16人 90歳代以上:2人 未回答:3人

* 性別: 男性: 22人 女性: 34人 未回答: 4人 * 職業: 有: 9人 無: 47人 未回答: 4人

*世帯構成: 夫婦 2 人暮らし: 26人 親と2 世帯: 5人 子と2 世帯: 9人

一人暮らし:13人 未回答:7人

*関係: 本人:8人 家族(同居):21人 家族(別居):11人 その他:4人

未回答:16人